

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

特派員だより

摘田は「先人の知恵」

令和3年3月、「上尾の摘田・畑作用具」が国重要有形民俗文化財に指定され、市民の間で話題になりました。皆さん、摘田の読み方や技術はご存知でしたか。日本の米作では苗を植える田植えが一般的ですが、上尾・桶川地区では田に直接、種を播く方法でした。その時に種をつまんで播くことから摘み田、摘田と呼ばれるようになったそうです。



土地改良でできた水路を示す上松さん

藤波地区に住む、70代後半の上松健司さんにお会いし、摘田の体験談を聞くことができました。上松さんは、1反(約10ア、畳60枚)弱の水田の兼業農業者です。「水はけが悪く底が深い、この地区の田んぼを『ドブツ田』と呼び、

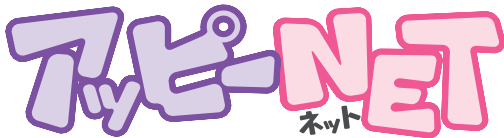
牛馬も機械も入れられず、人力の作業だけで稲作を行っていました。直播きはスズメに食べられることが多かったです。また、収穫時にも田んぼの水がなくならないため、田舟という小舟に、刈った稲束を乗せ、水のない畝まで運ぶ作業が必要でした。また、田うじと呼ぶ、チスイビルに足の血を吸われることも嫌でした」と、当時の苦勞を話します。また、収穫量も1反当たり5俵(300キログラム)と少なかったとのこと。上松さんは、「そうは言っても、この周辺は田んぼを持たない農家が多かったので、少しでも田んぼのある私の家は幸せでした」と言います。当時の習慣では、白米だけのご飯を食べられるのは、盆暮れだけ。普段は麦を混ぜたご飯が中心で、白米は貴重なものでした。

昭和49年から、同地区では土地改良事業が始まりました。上松さんの水田にも用水路ができ、湧き水が流れるようになり、ドブツ田が解消されたとのこと。周りの水田も改善され、稲作に適した水田に変わりました。耕運機や稲刈機ばかりでなく、トラクターやコンバインも入れられるようになり、摘田は役割を終えました。



原市地区
山口 悟さん

市民の情報交流スポット



広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873

アッピーNET掲載団体募集

アッピーNETは市民の皆さんの交流の場として、催しなどへの参加者募集「おいでください」と、各団体のサークル会員募集「いきいきサークル」を掲載しています。観客を増やしたい・会員数を増やしたい団体は気軽に申し込んでください。申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



おいでください

■初めてのドラム体験教室 1月22日(日) 16:00~21:00、コミュニティセンター 費1,000円 申1月15日(日)までに 柁川☎090-9294-8192 **ひと言!** ドラムを叩いて、新しい一歩を踏みだしてみませんか。

いきいきサークル

●カトレア・サルビア会(社交ダンス) 毎週月・(金)19:00~20:40、瓦草ふれあい広場 費月額4,000円(入会金1,000円) 申花井☎090-3577-0218(18:00~20:00) **ひと言!** 健康のため、楽しくダンスをしませんか。

●健康体操 ひまわり会 毎月第2・4月 10:00~11:30(毎月2・3回(土)有)、畔吉集会所 費月額1,500円 申竹ノ内☎781-8063 **ひと言!** ストレッチリズム体操で体を若々しく元気に。見学可。

●スマイル 毎月3回(火)10:00~11:00、朝日記念会館 費月額1,500円(入会金1,500円) 申藤原☎771-3835 **ひと言!** ボールを使用したストレッチで体幹を鍛える。体験可。

●手編サークル 毎月第2・4(金)13:30~15:30、大石公民館 費月額3,000円(入会金1,500円) 申山☎772-7121(20:00~21:00) **ひと言!** 小物からセーターなど講師が丁寧に教えます。

●箕ノ木ランドゴルフ 毎月15回9:00~12:00・13:00~16:00、上平公園・上平中学校・かしの木特別支援学校 費年額500円 申水口☎774-7209(17:00以降) **ひと言!** 会員募集。健康のため。楽しみのため。

●上平元気体操 毎月2回(休)10:00~11:30、上平公民館 費月額1,500円 申日坂☎772-3872(19:00まで) **ひと言!** 心と体を柔らかく。楽しく動いて頭も活性!体験どうぞ。



定…定員 ☎…対象 費…費用 当日…当日、直接会場へ 申…申し込み

スポット ライト

～人・仲間～

宮島
みやじま



翔太さん
しょうた
(小泉在住)

柳澤
やなぎさわ



凛さん
りん
(春日在住)

布山
ふやま



達也さん
たつや
(原市在住)

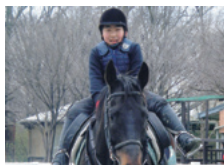
令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられました。それに伴い、上尾市では成人式の名称を「上尾市二十歳のつどい」に改め、記念すべき第1回目を1月8日(日)に開催します。そこで誓いのことばを宣誓する、宮島翔太さん、柳澤凛さん、布山達也さんにお話を伺いました。

「頼りにされたらそれを実現したいです」と話す宮島さんは、誓いのことばの宣誓者を決める際、やってみないかと声を掛けられ宣誓者を引き受けました。人の力になることがうれしいという思いは、将来の夢である教師を目指す原動力にもなっているそうです。「今の自分があるのは学校の楽しい雰囲気を作り出してくれた先生のおかげです。自分も生徒にそのような思いをさせてあげたいです」と語ります。

「人前に立ち、目立つことが大好きです」と話す柳澤さんは、コロナ禍で人との交流が制限され、同世代の間でのつながりが薄くなっていることへの寂しさがありました。二十歳のつどいの代表に選ばれた時、自分にできることがあれば貢献したいと考え、自ら宣誓者に手を上げたいそうです。「何かを成し遂げたいという気持ちは誰にでもあると思います。行動に移すことは難しいですが、チャンスが巡ってきたら積極的に向かっていきたい

未来を担う新しい門出

上尾市二十歳のつどい代表者



幼少期の宮島さん



幼少期の柳澤さん



幼少期の布山さん

「将来の夢は文部科学省で日本の教育制度を変えることです」と話す布山さんは、幼い頃からスポーツに打ち込み、中学生の時の夢は、プロのサッカー選手でした。しかし、海外に行った際に現地の同世代が母国語ではない言語を積極的に話す姿を見て、教育について考えるようになったそうです。「未来の子どもたちの教育水準を高めるためにも、英語教育を制度から変えたいです」と決意を語ります。

3人が共通して持っていたものは、何かを成し遂げ誰かのために貢献したいという強い気持ちでした。その気持ちがより良い社会の実現を大きく後押ししていくことでしよう。上尾市で20歳を迎え、未来を担う皆さんの新しい門出を祝福し、大いなる飛躍に期待します。



「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は12月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。

表紙 埼玉アイスアリーナで練習をする子どもたち

- 表紙の子どもたちが未来のオリンピック選手になり活躍することを期待します。(30代)
- 埼玉アイスアリーナを利用してみたいです。(40代)

埼玉アイスアリーナは、予約なしでいつでもアイススケートが楽しめます。ぜひ、足を運んでみてはいかがでしょうか。



市政ニュース マイナンバーカードとは

- マイナンバーカードの事を知ることができて助かりました。(60代)
- スマートフォンを使うことが難しいと思う人も多いと思います。申込支援ブースは大変助かります。(40代)

マイナポイントの申込支援ブースを2月28日(火)までの月～(土)8時30分～17時(システムメンテナンス日・閉庁日を除く)に開設しています。



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。

